

受賞者氏名	名誉教授 中野久松	
所属	理工学部 電気電子工学科	
受賞年月日	2025 年 5 月 7 日	
国内・国外	国外	
授与機関等名称	学術誌出版社 Wiley	
受賞名	最多閲覧論文の認証表彰	
受賞(研究)内容詳細	最多閲覧論文 世界的に著名な学術誌出版社 Wiley から表記の認証表彰をいただきました。 対象論文名： Dual-loop antennas with an expanded axial ratio bandwidth https://doi.org/10.1049/ell2.12784 対象論文名和訳：拡張された軸比帯域幅を有する 2 重ループアンテナ 著者名： Kazuhide Hirose, Koki Nishino, Hisamatsu Nakano 2023 年 4 月 1 2 日に公表。 掲載学術論文誌名： Electronics Letters, Institution of Engineering and Technology (IET) 論文内容 著者らは、3 dB 軸比帯域幅を拡大するため、バランス給電を用いた新しい二線アンテナを提案している。アンテナは、準二重給電源をもつループ素子で構成されており、モーメント法 (MoM) を用いて素子間距離が軸比帯域幅に与える影響を明らかにしている。その結果、素子間距離が 0.15 波長のとき、アンテナは最大 41%の帯域幅を示し、これは単一ループ素子の約 3 倍に相当することが分かった。 続いて、バランス給電を L 字形の並列給電線を用いた準バランス給電へと変更する。数値解析および実験により、このアンテナが 28%の軸比帯域幅を示すことが確認される。	

受賞者氏名	名誉教授中野久松	
所属	理工学部 電気電子工学科	
受賞年月日	2025 年 8 月 4 日	
国内・国外	国外	
授与機関等名称	IEEE International Workshop on Electromagnetics	
受賞名	プレナリー講演感謝表彰	
受賞(研究)内容詳細	表彰内容 「2025 IEEE 電気磁気学に関する国際ワークショップ(The 2025 IEEE International Workshop on Electromagnetics)」に於けるプレナリー講演への貢献に対して感謝表彰を受けました。 講演題目： Recent Progress in Circularly Polarized Metas-antennas 講演題目訳：円偏波メタアンテナにおける最近の進展 講演内容 アンテナは、自然系アンテナと超自然系（メタ系：MTM）アンテナのいずれかに分類される。前者は自然界に存在する電磁特性、すなわち右手系特性を有し、後者は自然界には存在しない電磁特性、すなわち左手系特性または右手系と左手系が複合した特性を有する。本講演では、MTM アンテナの最近の進展として、メタラインアンテナ、メタループアンテナ、メタスパイラルアンテナ、そしてメタカールアンテナを紹介している。なお、これらの MTM アンテナは波長の約 1/100 という低背構造を持つ点が特徴である。 講演では、第一に、メタラインアンテナの特性について述べている。このアンテナでは、周波数を変化させることで円偏波（CP）ビームスキャンが実現される。また、CP ビームスキャンを可能にする曲げられたメタラインのアレイについても説明している。 第二に、メタループアンテナの解析を示し、このアンテナが逆向きの CP デュアルバンド特性、すなわち特定の周波数帯では左手系 CP 放射を、別の周波数帯では右手系 CP 放射を示すことを明らかにしている。第三に、メタスパイラルアンテナについて議論し、方位角方向と仰角方向の両方で CP ビームスキャンが可能である点に焦点を当てている。第四に、メタカールアンテナを取り上げ、このアンテナが左手系 CP 波と右手系 CP 波の両方を、同一の最大利得で放射できることを示している。	

受賞者氏名	名誉教授 中野久松	
所属	理工学部 電気電子工学科	
受賞年月日	2026年1月18日	
国内・国外	国内	
授与機関等名称	国際情報学会	
受賞名	基調講演感謝賞	
受賞(研究)内容詳細	第11回国際情報学会・国際会議に於いての基調講演に対し、感謝表彰を受けました。 講演題目：Metamaterial Antennas Enabling Future Information and Communication Environments 講演題目和訳：未来の情報通信環境を可能にする超自然系アンテナ 講演内容 アンテナは現代の情報通信システムの基盤を成す重要な要素であり、モバイル通信機器やIoT（Internet of Things）から先端的な宇宙技術に至るまで、幅広い応用を可能にしている。近年では、革新的なアンテナアーキテクチャが登場し、情報通信環境の未来を大きく変革する可能性を示している。その中でも特に注目されるのがメタマテリアルアンテナ（超自然系アンテナ）である。これらは、自然界には存在しない電磁特性——とりわけ左手系特性——を実現できる点で際立っている。 本発表では、まずメタマテリアルアンテナ設計の理論的原理について概説を行い、続いて円偏波（CP）メタマテリアルアンテナの詳細な解析へと進む。これらのアンテナが持つ独自の動作メカニズムと、次世代の情報通信インフラへの潜在的な貢献について重点的に論じている。	